

発行：港区議会議員 阿部 浩子
住所：港区麻布十番 2-4-1-201

TEL/FAX： 03-3452-2028 E-mail：info@hiroko-abe.com
URL：http://www.hiroko-abe.com

港区議会議員(立憲民主党) ひまわり通信

あ ベ ひろ こ
阿部 浩子



命と暮らしを最優先!!

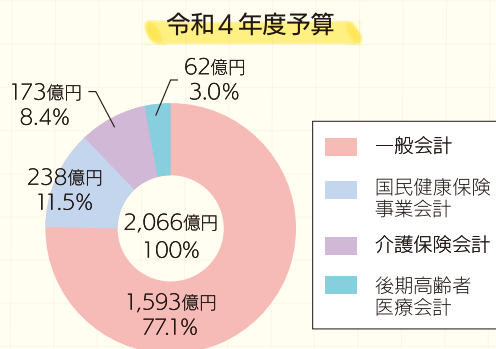
令和4年第1回港区議会定例会 (2月16日～3月15日)

令和4年度予算総額 2,065 億 8,299 万円可決

一般会計は1,593億円、国民健康保険、介護保険、後期高齢者会計の3つの特別予算をあわせた港区の来年度予算の全体額は2,065億8,299万2千円。

今年開設する産業振興センター、8月に各総合支所に開設する福祉窓口、補聴器の助成、そして4月からは港区立芝浜小学校がみなとパーク芝浦の敷地に開設します。

令和4年度の予算案は過去3番目の予算規模で、過去最高815億円の区民税収入を計上。感染症の影響から区民の命と健康を守り、まちのにぎわいを加速するための施策を最優先にすすめる予算とされていますが、コロナで港区の人口減少は進んでいる一方、区の財政の根幹の特別区民税収入は増加しています。コロナで疲弊をし、支援を必要とする方に所得の再分配をすすめていくべき、と議会の中で取り組んでいます。



ロシアのウクライナへの攻撃は一日も早く止めるべき

3月3日港区長と港区議会の連名で抗議文を発表しました。

2022年2月24日、ロシア連邦はウクライナへの軍事侵攻を開始し、多数の市民の死傷者を出しています。

この行為は、ウクライナの主権を侵害し、武力の行使を禁ずる国際連合憲章の重大な違反であり、国際社会の平和と秩序、安全を脅かす深刻なものです。

世界の恒久平和を願って「平和都市宣言」をし、核兵器の廃絶を訴え、その実現のために各国の市民同士の友好親善に取り組んできた港区としては、断じて容認することはできません。

人々の尊い命と平和な暮らしを奪う軍事侵攻を直ちに中止し、平和的解決に向けた外交努力を強く求めるとともに、ウクライナの皆様に1日も早く平和な日常が戻ることを切に願います。

令和4年度予算特別委員会



阿部浩子の議会報告



■ヤングケアラーの支援について

質問：国のヤングケアラー実態調査によると、中学生の約17人に1人(5.7%)が1日の平均で4時間を家族の世話に費やしている。1日に7時間以上世話をしている生徒は1割を超えていたとされている。つまり、中学校でクラスに2人以上のヤングケアラーがいることになる。港区はヤングケアラーの実態調査をすべきではないか。

答弁：いかに子どもの声を引き出すか慎重に検討することが必要であり、調査については今後の課題。

質問：ひとり親ホームヘルプサービスの対象者を小学生の子どもがいる家庭から中学生まで引き上げること、少しでも中学生の家事負担が軽減されるのでは。

答弁：サービスの利用実態やひとり親家庭の状況を把握の上で、対象者や利用方法について調査研究する。

阿部浩子の
考え

子ども家庭課と教育委員会が連携し、子ども達にタブレットで調査する方法もある。区は、港区の実態を把握し、施策につなげるべき。

ヤングケアラー自身が意味をわかっていない事例もある。だからこそ、区の調査は早急に行い、ヤングケアラーにとって必要な支援をきめ細かく行っていくべきです。そこで取り急ぎできる支援の一つとして、ひとり親ホームヘルプサービスがある。この事業は、支援を必要としている小学生以下の児童のいるひとり親家庭にホームヘルパーやベビーシッターを派遣し、必要な援助を行っている。この制度を拡大すべきです。

■ひとり親家庭への支援について

質問：子どもたちに床屋さんや美容院の利用券を配布し、利用することで自己肯定感を高めることにつながるのでは。

答弁：自分の話を聞いてもらえることは自己肯定感につながる、理容や美容の支援をプレゼントするのは今



後の研究課題とする。

阿部浩子の
考え

ひとり親については様々な課題を抱えている家庭がある。コロナ禍で影響を受けているのは、非正規雇用の女性がほとんど。女性の半数以上は非正規雇用のため、ひとり親世帯で影響を受けている家庭が大半。親が仕事で子どものお世話ができない家庭がある。だからこそ、その子どもたちが一人の子どもとしていられる時間をつくってあげたい。

そこで、その子どもたちに理容や美容をプレゼントすることについて考えた。床屋さんや美容院は利用者ひとりだけをみてる。家や学校でもない、全く自分との接点がない場所でリラックスできるのではないかなと思う。

■就学援助世帯の支援について

質問：就学援助の修学旅行費を事前に支給できるようにすべき。

答弁：様々な視点から検討した結果、生活保護を受給している世帯においては来年度から実施していく。

質問：就学援助対象を私立小中学校にも拡大すべき。

答弁：提案の趣旨を踏まえ検討課題とする。

阿部浩子の
考え

就学援助世帯の修学旅行費は一旦保護者が支払い、その後振り込まれる。しかし、目の前にお金があれば期限内に支払うことはできず、このケースの相談事を何度かうけてきた。まずは生活保護世帯から始まるが今後就学援助全世帯に拡大してほしい。私の親世代からは家にお金がなくて修学旅行に行けなかったとの声を聞くことがある。いくつになっても何年たってもあの時代の記憶として修学旅行は私たちの心の中に残っている。だからこそ、すべての生徒を修学旅行にいかせてあげたい。

港区の就学援助は、区立、都立、国立の小中学校、特別支援学校に通っている児童生徒が対象。

令和3年4月現在、港区立小学校・中学校に入学した児童生徒の割合は、小学校では約72%、中学校では38%。インクルーシブ教育やそれぞれの特色がある私

立学校が増えている。私学に就学援助を拡大している区は、23区中6区ある。港区は他の6区と同様に、経済的に厳しい家庭に対して私学にも就学援助が受けられるように拡大していくべきです。

■港区プレミアム付き商品券について

質問：2月に電子商品券10億円と従来の紙商品券で5億円が販売された。応募数と倍率は。

答弁：紙は22,279人の応募のうち当選者の区民は8,557人で2.6倍。10億円の電子は12,355人の応募で全員当選。

質問：現在、プレミアム付き商品券を取扱っている店舗数は何店舗か。電子取扱、紙取扱、電子と紙の両方取扱の店舗の率は。

答弁：電子が約6割、紙が約9割弱、両方を取扱が48.4%。

阿部浩子の
考え

この店舗数では、紙の発行額が多くなければ利用する方にとって使いにくい。

このプレミアム付商品券は、子どもから大人まで購入することができる。限度額は1人5万円。しかし、電子を購入するにはスマートフォンが必要。そのため、子どものいる家庭、またスマートフォンの使い方に慣れない方は紙を選択。初めてのことなら紙と電子の割合を逆にすべきだったのではないかな。

■港区男女平等参画センターリーブラの運営について

質問：退職者が出ていることについての区の考えについて

答弁：指定管理者事業者の職員の退職については、区が介入できるものではない。しかし、リーブラの円滑な運営に支障が出ることはないよう、指導・助言を行っていく。

質問：令和5年度にリーブラの指定管理期間が終了する。指定管理者を公募するのか、区の直営にするのか検討状況は。

答弁：現在の指定管理事業者の指定期間は、令和6年3月31日まで。現在、区全体で指定管理者制度の課題の洗い出しを行っている。今後、その状況を踏まえ、対応していく。

阿部浩子の
考え

港区立男女平等参画センターは、港区の施策を実現するために「港区男女平等参画条例」で拠点として位置づけられており、現在株式会社明日葉が指定管理者として運営している。

平成31年から令和4年2月末までに19名が退職している。この数字は異常な数だと私は考えている。この事業者は指定管理をうけてから、2年半の間に館長が3人替わり、館長不在の時期もあった。そしてこの3月末にまた昨年6月に採用された館長が退職する。

リーブラは人権・男女平等参画担当課長の所管でもあり、今年度は総務課長が兼任。今後もリーブラを指定管理とするなら、私は、所管である人権男女平等参画担当をリーブラに配置すべきだと考える。

阿部浩子の
考え

下記のはがきでご意見やご感想、気になっていることなどについてお知らせください。

郵便はがき

料金受取人払

芝局承認

2137

差出有効期間
2023年3月
31日まで
(切手不要)
84円切手貼付
ご協力下さい

1068790

024

港区麻布十番2-4-1-201

阿部 浩子 行



（ふりがな）		連絡できるお電話番号
あなたのお名前		
ご住所	〒 港区	
メールアドレス		@

※お名前がないと返信ができません。ご協力をお願いします。

（キリトリ線）



阿部浩子からのお知らせ



月刊学習誌『まなぶ』3月号
に記事を書きました。

(以下 抜粋)

港区議会議員として早いもので19年がたとうとしています。

議員になった当初2004年、港区の出生率0.78人を増やそうと子育て支援の充実に取り組んできました。港区は23区でワースト2位が現在、2014年1.35人となり23区でトップの出生率になりました。出産費用の助成、子ども医療費の無償化、保育園待機児童対策等、様々な施策を私は提案して実現してきました。

子どもの貧困問題が注目された2013年、港区の状況を調べたところ、全国平均と同様、就学援助を受けている子育て世帯がありました。子どもの貧困問題をこの港区から解決していきたいという思いで、まずは「NPO法



人みなと子ども食堂」を2016年に立ち上げ、子ども食堂の運営、学習支援の活動は現在7年目に入っています。

子ども食堂と同時に給付型奨学金制度の創設について議会で取り組んできました。港区は大学生の返さなくてもいい奨学金制度が2021年度に創設されました。大学で奨学金をかりている学生は全国で2人に1人となっています。勉強したい学生は、返さなくてもいい奨学金を活用して大学にいき、社会で活躍してもらおう。そして将来税金を納めることで社会に還元すればいいと思います。ようやく港区にもその制度ができました。貧困は連鎖します。そこを断ち切るのには教育しかありません。

このコロナ禍でみなと子ども食堂は、子ども食堂の開催から、毎月1回のフードパントリー（食品配布）に変えてひとり親の方々を支援しています。お米、野菜、果物、肉、お菓子、缶



詰、乾麺、衛生用品、文房具等をお配りしています。開始当初は30世帯が今は350世帯の方々が利用しています。

地域の方々と法人を立ち上げ、地域の方々にボランティアいただき、地域の方々にご寄付いただく、また、子ども食堂で購入するものは地域のお店で買い物する。

今春で区議会議員として20年目、この港区で出産し、子育てをしている私だからできること、地域に根付く議員として、子どもの貧困問題、地域の課題解決のためこれからもこの港区で走り続けます。いつも支えてくださる皆さんに感謝しながら。

港区議会議員 阿部 浩子



港区政に関してのご意見・ご要望・ご質問・お困りごと等、みなさんの声を聞かせて下さい。また近況などお知らせください。

ご連絡させていただく場合は、 メール ・ 電話 (~ 時)

「ひまわり通信」を多くの方に読んでいただきたく、港区のお知り合いの方をご紹介ください。

お名前(ふりがな)	ご住所	電話番号
	〒 港区	
		ご関係

「ひまわり通信」を郵送でご希望の方は、郵送希望に○印をお願いします。

郵送希望

この通信はどこから届きましたか？ ご協力をお願いします。
新聞折込 (新聞) ・ ポスティング ・ 郵送

(キリトリ線)



阿部浩子プロフィール

- 港区議会議員 (第46代港区議会副議長)
- 東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会副委員長
- 総務常任委員会所属
- S 43.2.7生、秋田県出身
- 昭和女子大学短期大学部食物科学科卒業、秋田テレビ株式会社、老人保健施設(栄養士)、衆議院議員秘書、2003年初当選、現在5期目
- 栄養士、東京都動物愛護推進員、麻布消防団員、防災士
- NPO法人みなと子ども食堂副理事長
- 家族：夫、娘(高校1年)

ホームページ

阿部浩子

検索

